統合中学校新築工事 順調に進む

去る八月工事に着工し、悪天候が続きましたが総て順調に進んでおります。十一月半ばには二階までコンクリートの打込みを終了し、今月上旬には三階屋上までコンクリートの打込みを完了する予定であります。この間、県係官の現場検査には良好であるとの言も頂いておりますので、三月始めには予定どおり普通教室八室、購売室、生徒会室が立派に完成するものと考えます。

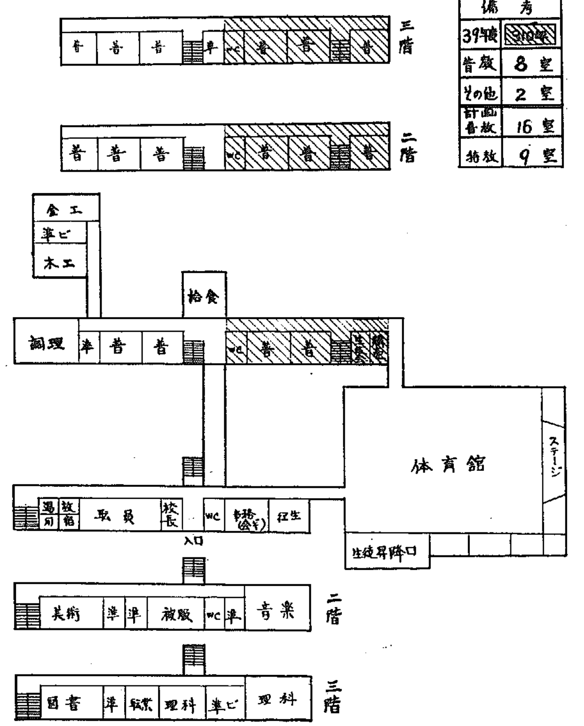
四十年度、四十一年度で校舎は完成し、普通教室十六室、特別教室九室、その他室を完了、全村の中学生を一堂に集め得る学校ができます。

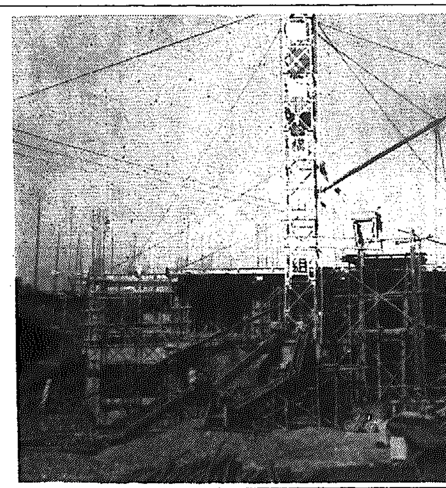
四十二年度には体育館五〇〇余坪ができる予定になっております。

統合校の配置及び平面図について

現在着工されている校舎には普通教室の全部を集めまして、将来は完全給食を実施したい考えで、普通教室十六室と調理室をもった棟が出来る予定です。その校舎の北側に技術教室（金工、木工）を作り技術教育の充実を図る予定です。この校舎の約十五間南側に第二の棟を建策する予定であり、一階には管理関係諸室、二階は音楽室、被服室及び美術室（図画工作）です。三階は図書室と理科室の二室を作る予定で、どちらも屋上を利用出来ます。最終年度には体育館一棟を校舎の東側に鉄骨造りとして建築します。大きさは、バスケットコート二面をとれるようにと考え五〇〇坪余りを予定いたしています。以上でおおよそのことはおわかりと思いますが、完成後は近代的な完備した学校になるものと期待をもっております。

岩室中学校配置図及平面略図





（写真は二階まで出来た新校舎）

被保護世帯等に年末慰問

木枯しが、身にしみじみと感ずる時期となってきました。

年末が近づくと、なんとなく気ぜわしくなります。本年も県と村から被保護世帯と社会福祉施設入所者（療養所、結核病院、養老院、精神病院、学園など）に対して、年末慰問品が届けられることになり、その計画が進められております。

被保護世帯とその家族が施設へ入所している方で、少しでも明るい正月を迎えてもらいたいと言う希いからのものです。

そうして、これらの方々が一日も早く自立更生と入所者の方々が回復されて、社会に進出されることを望んでいます。

工業統計調査についてお願い

来る十二月三十一日現在で例年の通り工業統計調査が行なわれます。

この調査は税金面に関係なく毎年通商産業省が行なうものです。

一月中に調査員が該当する製造業の事業所に御伺いして調査いたします。御多忙のところ誠に御手数様に存じますが、よろしくご協力下さるようお願い致します。

三回目の冬を迎える水道

水は一種の栄養剤

◆冬着の仕度へ真しぐら

給水管は、すべてビニールです。

地上にでているところは冬は中の水が凍りやすく、凍るとふくれあがって破れつしたり、水が出なくなったりもする。

昨年着衣の綱とか布、または防水紙などのほころびやくさったものは取替えてやりましょう。

まだむき出しで放って置く家庭もあるようでありますので、転ばぬ先の杖、早く冬着をきせてやりましょう。

◆泥水浴をするメーター

メーターはお宅様の使用水を確実に計量してくれるもので、目標を勝手場においているため、下水と仲よしとなっているものが多くなっています。

毎月の検針作業には空かんと泥だらけの手がその作業の予定をくるわせている現況で、メーターは常に乾燥した状態におくことが望しく、そのためには、御家庭の下水の整理に、雨水の始末に、またときどきメーターとの面会をして、中の泥を上げてやる、などの温かい思いやりが加えられてこそ、器材の長持ちができ、きれいな気持のよいしかも予定通りの検針ができるのです。

もし器材類が破損したり故障になりますと、一切がお宅様の負担によって直したり取替えることになりますので、協力し合ってメーターを泥水浴より救ってやりましょう。

◆重荷にあえぐメーターと止水栓のはこ

メーターを保護するのが四角な鉄はこ。止水栓を保護するのが丸い鉄筒で、常に誰でも確認できるようにしてありますか**この上には物を置けない**ことになっていますが、まだこの上に重荷をして月々の検針と器具の点検ができなく、またそのために継手が折れたり、はこが下ったり、こわれたりして事故をまねく原因にもなって、処理上困ることが多いので人為的に物を置かないようにして下さい。またこれからの除雪にも充分意を用いましょう。

◆漏水は招かざる客

水道水はすべて管によって供給され、無数の継手にささえられているので、地上、地下、またことの大小を問わず、常にどこかで漏水は免かれないものとされていますが、これをなるべく少なく、そのためには御家庭で漏水の原因となるものを取除き、村内網目状に布設されている、地上下の漏水発見通報による早期修理の実行を期するために、招かざる客漏水の追放に、より強いご協力を下さるようお願い致します。

「共同募金」感謝の御報告

村の目標額上廻り達成

お互いにたすけあう精神は、家族や隣人のあいだからはじまり、時代とともに大きく育ってきました。十月一日から十二月三十一日までの間、赤い羽根をシンボルとするこの運動も、村の皆さんの御理解と御協力によりまして、本年の目標額十九万六千四百円を上廻り二十万一千四百四十四円（十一月三十日現在）となりました。この募金は、村へ配分金として十万円、歳末たすけあいで一万七千五百円、計十一万七千五百円が還元され、村の社会福祉事業や、恵まれない不幸な人達が少しでも明るい正月ができるようにと有益に使途されます。

ことしは、新潟地震や干害、水害など幾多の試練の嵐が私たちにふりかかってきましたが、それに打ち勝って、よくこの募金に御協力下さいまして、ほんとうに心から感謝申しあげます。

部落名	募金額
金池	3,700
石瀬	18,325
岩室	20,470
樋曽	7,250
尻引	1,380
田子島	3,850
橋本	4,980
久保田	2,270
猿ヶ瀬	1,350
南谷内	1,800
北野	2,310
夏井	8,310
西中	5,310
潟上	2,120
白鳥	830
西長島	2,260
横曽根	2,640
西船越	2,760
新谷	2,140
油島	2,230
高畑	3,940
間瀬一区	4,820
二区	4,140
三区	5,290
四区	4,220
五区	4,700
六区	5,680
七区	6,130
原	2,800
津雲田	2,500
富岡	1,250
高橋	2,900
和納一区	7,350
二区	6,700
三区	9,900
四区	6,390
五区	4,750
六区	6,720
七区	8,360
八区	6,340
間瀬中学校	1,460
間瀬小学校	835
岩室中学校	3,540
役場職員等	1,044

戦没者に対する叙位叙勲の該当者お知らせ

今年一月より始まった戦没者に対する叙位叙勲の事務取扱いもようやく軌道に乗ったと見えて、今回多数の英霊に対し行なわれることになりました。今か今かとこの日の来ることを待ちに待った御遺族の方に心からお喜びを申し上げます。

部落	戦没者名	遺族名	附記
尻引	本間一雄	クニ	
石瀬	山田弘	金平	
横曽根	富沢登	ハツ	
和納	五十嵐貞夫	寛一郎	
〃	加藤栄蔵	トラ	
〃	長谷川松衛	松二郎	
金池	高柳貫一	ヨキ	
石瀬	渡辺小三郎	モト	
〃	棚橋文吉	直松	
岩室	後藤末一	フジ	
田子島	吹井熊吉	虎吉	
〃	吹井修	豊作	
〃	三富末太郎	徳一	
橋本	五十嵐正栄	政蔵	
西中	大平正春	十四六	
〃	大平仁一郎	興市	
西長島	山県信治	タズ	
〃	池田昇次	貞雄	
高畑	野水寅平	トク	
原	大岩琢磨	芳江	
和納一	早川亥五郎	セヨ	
〃	本間公宇	保	

部落	戦没者名	遺族名	附記
和納二	相沢佐助	征支郎	
和納三	中沢耕一	タヅ	
〃	坂下正一	サト	
和納四	本多初男	十吉	
和納五	竹内寅吉	勝治	
和納六	田中仁作	作縫治	
〃	伊藤以智二	福一	
和納七	山田正吾	光太郎	
〃	瀬戸川春雄	ツタ	現東京
〃	高野鉄雄	ヒナ	
間瀬	本間国代	国五郎	
〃	本間藤松	フサ	
〃	信田正平	正夫	
〃	宮川久三郎	千代吉	
〃	本間梅蔵	権蔵	現北海道
〃	赤川熊次	ミサオ	
〃	阿部徳英	徳義	
〃	田中玉蔵	猛	
〃	本間一	ヨリ	
〃	田中善壱	太七	
〃	宝輪儀作	儀一	
〃	五十嵐三郎	仲吉	